

第 103 回 利用者の会— 今の状況を確認し、これからの進め方を考える会

① 今回の目的(この会議で確認すること)

1. 2025 年次報告書を皆さんに配り、内容を共有すること
2. 利用者の使い方が原因で起きているトラブルを整理し、対策を決めること
3. パイプラインに代わる方法を試す「モニター」の準備状況を確認すること
4. パイプラインの老朽化がどこまで進んでいるかを共有すること

② 今、起きていること(使用できる期限は決まっています)

- ・芦屋浜は 2039 年まで
- ・南芦屋浜は 2051 年まで
- 維持費は年間約 2 億円かかっています。トラブルが起きると、その分さらに費用が増えます。
- 利用者の使い方が原因のトラブルが約 20 件発生
 - ・カギのトラブルが 8 件(いちばん多い)
 - ・排出弁の詰まりが 4 件(大きな事故につながるおそれ)
 - ・特定の地域に集中している傾向あり
- 管路の老朽化が進んでいます
 - ・曲がった部分にこぶし大の穴が発生
 - ・3 日間パイプラインが停止
 - ・臨時のごみ回収を実施

これまでは「まだ使える」状態でしたが、今は「いつ止まってもおかしくない」状態に近づいています。

③ 今回、話し合う主な点

1. すぐにできる対策を実行するか
 - ・カギの交換を呼びかける
 - ・「90 度しっかり回してから抜く」図を掲示する

→ カギのトラブルは減らせる可能性があります。

2. 注意の伝え方を強めるか

これまでは「お願い」中心でした。今後は、影響をはっきり伝える方法を検討します。

- ・止まると全体に影響が出ること
 - ・修理に多くの税金がかかること
 - ・実際の詰まりの写真を示すこと
- より効果のある伝え方を考えます。

④ これからの予定(3 月までに行うこと)

- ・年次報告書の配布を完了
- ・カギ対策の実施を決定
- ・次回の予定 3 月 26 日(木)19 時 30 分~20 時 30 分